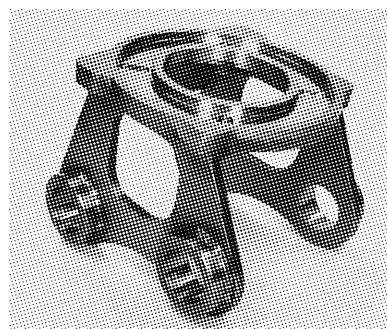


航空宇宙で米進出

衛星部品 など 湯本電機、受託製造



樹脂や金属の切削加工を手がける湯本電機（大阪市東成区、湯本品を受託製造し米国企業に販売する体制を2025年までに整える。日本とベトナムで開発や製造を柔軟に分業し、輸出コストや人件費を抑える。▲湯本電機が製造する加工部品

（大阪市長）は、人工衛星やロケットなどの部品を受託製造し米国企業に販売する体制を2025年までに整える。日本とベトナムで開発や製造を柔軟に分業し、輸出コストや人件費を抑える。▲湯本電機が製造する加工部品

本格稼働から5年以内に米国市場で年商10億円を目指す。宇宙航空研究開発機構（JAXA）や大学の研究機関に部品を納めてきた実績を訴求し、米国の航空宇宙産業に進出する。

る。本社では設計と生産技術開発、新工場では製造、ベトナム工場では加工プログラムの作成などを行う。最終的な投資額は5億円程度を見込む。

部品の製造では一般的に注文から2週間程度の納期が必要だが、生産体制の強化により1週間以内の出荷を目指す。将来的には米国に製造拠点を置き、一層の短縮を図る。

25年までに中国地方で工場を新設し、本社やベトナム工場とともに5軸加工機を導入する。

ウェブサイトを通じたデジタルマーケティングで販売先を開拓。「品質やコストの面では米国企業と十分に差別化できる」（湯本社長）。

世界の衛星産業市場は21年時点で約36兆3000億円に達し、宇宙産業全体の約7割を占めるとの試算がある。特に衛星データを活用したサービス分野などが成長しており、衛星・ロケットも今後の需要が見込まれる。